

平成 22 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	バルクナノメタル 一常識を覆す新しい構造材料の科学
領域代表者	辻 伸泰 （京都大学・大学院工学研究科・教授）
研究期間	平成 22 年度～平成 26 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>本研究領域は、すぐれた特性をもつ「バルクナノメタル」の材料科学について新しい学理を確立するとともに、新たな材料開発を目指した重要な研究領域である。ナノスケールの内部組織とバルクの力学特性との相関を明らかにする意義は大きく、資源・エネルギー・環境問題等に貢献する新たな材料開発への展開が期待できる。研究計画では、力学特性に焦点を絞り、転位と粒界の相互作用を明らかにするなど、明確な研究の方向性が示されている。また、計画研究による力学特性の解明と、公募研究での新機能探索という位置づけも明確であり、実験と理論、計算を含めた各研究項目の有機的連携により、大きな研究成果が期待できる。さらに、十分な実績をもつ研究者とともに、若手研究者が多く参画していることから、将来的に研究領域の発展も期待できる。</p>